

「リスクコミュニケーションを体験するワークショップ」報告

化学部会 若手グループ

1. 概要

- 開催日時：平成30年11月17日（土）13時30分～17時00分
 - 開催場所：機械振興会館 6F 6D-4 会議室
 - 会費：会員・準会員・関連学協会会員 1,000 円、その他非会員 2,000 円
 - 参加者：技術士会会員 10 名
 内訳：化学 10 名
 非会員 4 名（化学 2 名、生物工学 1 名、原子力・放射線 1 名）
 講師 2 名
- | | |
|----|------|
| 合計 | 16 名 |
|----|------|

2. プログラム

- 13:30～13:35 冒頭あいさつ（佐藤技術士）
 以下、横浜国立大学環境情報研究院 竹田先生、本間先生がご進行
- 13:40～14:30 講義 リスクコミュニケーションとは何か
 休憩
- 14:40～15:00 個人ワーク（シナリオを読み市民の立場になり 5 問質問を考える）
- 15:00～15:20 グループワーク 1（質問を 10 問に絞り、模造紙に記入）
- 15:20～15:40 グループワーク 2（質問に対する回答を作成）
- 15:40～15:50 模擬リスコミ準備（質問、回答、配役確認）
- 15:50～16:30 模擬リスコミ（ロールプレイ）
- 16:30～17:00 全体振り返り、QA、まとめ

3. 費用

<収入>

参加費	会員	1,000×10 =	10,000 円
	非会員	2,000×4 =	8,000 円

合 計			18,000 円
-----	--	--	----------

<支出>

講師交通費			2,774 円
備品代			5,295 円

合 計			8,069 円
-----	--	--	---------

行事収支			9,931 円
------	--	--	---------

<若手 G 管理会計収支>

前回までの若手の会繰越金			17,052 円
今回の繰越金			9,931 円

次回繰越金			26,983 円
-------	--	--	----------

4. 特記事項

- ・最初にリスクコミュニケーションとは何か、誕生の経緯、現状について講義頂いた。
- ・模擬リスクコミュニケーションでは、再開発を計画した工場跡地土壌から化学物質が検出されたというシナリオに基づいて竹田先生がファシリテーター、受講者が住民の立場、再開発を進めたい行政の立場グループワーク形式で交互に体験し、各々の立場でコミュニケーションに必要なことを学ぶことができた。
- ・模擬リスクコミュニケーション後の質疑では、受講者が演習を通して気づいた疑問や不明点について講師から過去の事例に基づいた対応を説明頂き、受講者は得るものが大きいワークショップになった。



講義の様子



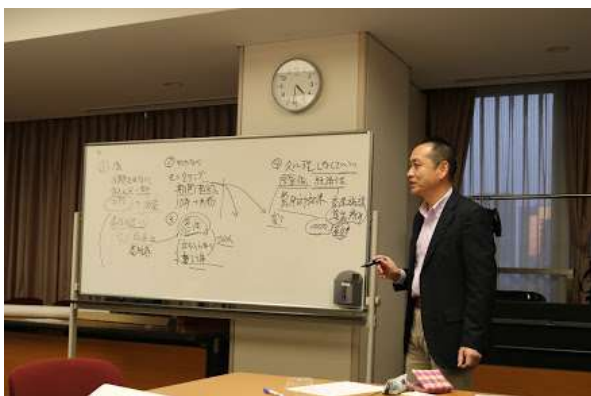
個人ワーク中



グループワーク中



本番さながらの模擬リスコミ



模擬リスコミ講評



集合写真